

## 視察報告

市民クラブ 岡本早智雄

### <視察目的>

新たなまちづくりが進みつつある本市において、まちづくりに必要な国の支援の動向をしっかりと把握し、時機を逸すること無く実施しなければならない。そこで、いくつかの各省庁の担当者に状況を直接伺った。

また、今後の安来市の医療を守っていくため、市立病院の今後について、市としての考えを示された中で、病院改革について実績ある税理士法人にその方向性について伺った。

### <視察内容>

視察月日	視察相手	視察内容
2/17	農林水産省農村整備局	・ 農地整備を巡る事情
2/18	総務省自治財政局交付税課 国土交通省道路局企画課	・ 普通交付税について ・ 道路整備の重要性について
2/19	東日本税理士法人事務所	・ 病院改革と独立行政法人化について

### 《農地整備を巡る事情》

#### 【考察】

農林水産省担当者より、農地整備の必要性を改めて伺った。主に大きく分けて2つの事業を行っている。

「水田の大区画化」と「水田の汎用化・畑地化」であり、前者は読んで字のごとくで、担い手が減少する中で効率化、省力化を図ること、後者は米の消費量が減る中、水田の新たな使い方をするための整備をしていくということであった。

本市においては、他自治体に先駆けて先進的に大区画化が進んでいるが、そういった事業を導入しやすい平地は良いが、中山間地での農地・農業のあり方、担い手不足への対応などを根本的にどうしていくか考えなければならないと思う。中山間地の農地が荒れれば、様々な自然災害、特に水害の大規模化リスクも増加すると思われるので、防災・国土保全の観点も含めて中山間地も含めた事業を実施しなければならないのではないかと考

える。

## 《普通交付税について》

### 【考察】

総務省自治財政局の職員より、普通交付税とその算定について令和8年度予算における普通交付税の状況も含めて内容を伺った。

これまで、交付税の算定について、地方財政対策に基づいて自治体に交付されているはずだが、これまでは入ってしまえば市町村では算定の中身がわからないとの話を聞いていた。しかし、総務省では、算定基準をHPで出しているし、算定のためのドリルのようなものも出しているので答え合わせをしてもらえばわかる。もしわからなければ問い合わせもしてもらえばとのことであった。近年は情報公開もしっかりしていかないといけないので対応するとのことであった。

これまで、交付税が本当にはいっているのか疑問だったことなので、そういった目で今後もチェックしていかなければならないと思った。

## 《道路整備の重要性について》

### 【考察】

国土交通省職員より、令和8年度の当初予算の状況も含めて道路整備に関わる予算について伺った。

国全体の当初予算ベースで前年度から微増だが、物価上昇、人件費上昇に対応するためには、4%くらい上昇させないとこれまでと同じくらいの事業量は確保できないとのことであった。また、予算自体は微増となっているが、その内情は国土強靱化に関する予算の内訳が増えており、新たな道路整備の予算はその分圧縮されているとのこと。

また、予算の事業別の内訳では、維持修繕・道路メンテナンスなどの事業に若干多く配分しているとのことであった。

これまで、道路に関しては、今後は維持修繕に多くの費用を充てるべきだと考えていたので、そういった意味では良いことであると思ったが、県道・市道においてもそういった考えのもとで、草刈りなども含む維持修繕に力を入れてほしいと思うし、そういった事業がやりやすいような項目で、国も補助金なり、交付税なりを配分いただかなければならないと思っている。

## 《病院改革と独立行政法人化について》

### 【考察】

酒田市病院機構・大月市立中央病院の先進事例について伺うとともに、独立行政法人化する場合の市議会の役割について伺った。

山梨大学附属病院との連携強化にするために、大月市立中央病院は独立行政法人化し、市

立病院の中に「東部地域医療教育センター」となることで、医師派遣の強化し、医師不足への対応を行ったとのこと。

こういった方法で医師派遣され医師確保がなされることで、市立病院の維持と地域医療の確保が出来るのであれば、方法としての独立行政法人化について理解はできた。

関係者への丁寧な説明と、理解をいただける努力をしっかりとした上で事業を進めていただかなければならないと考えている。